

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日本3月景気ウォッチャー調査)

2019/4/8

りそなホールディングス 市場企画部



### 〇概況

- ◆ 3月景気ウォッチャー調査、現状の基調判断は下方修正
- ◆ 現状判断DI、先行き判断DIともに前月から低下
- ◆ 調査期間の3月最終週は急速に景気悪化観測が高まった時期であり、マインドに大きな影響を及ぼしたとみられる

- ✓ 景気の実状に対する判断DIは前月から2.7ポイント低下の44.8と2か月ぶりの低下となった。家計、企業、雇用の全項目でDIが低下した。
- ✓ 2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは48.6と前月から低下し、4か月連続の50割れとなった。
- ✓ 現状では、「雨の影響や気温の寒暖差もあり、冬物、春物商材共に売れず来客数も少ない」（近畿：衣料品専門店）と天候の悪さを指摘するコメントや、「世界経済の鈍化により、設備投資が抑制されるなどの影響を懸念している」（東北：輸送用機械器具製造業）と景気減速を懸念するコメントみられた。先行きについては「国際情勢や経済が不安定であり、国内においても不透明さが増している。」（九州：設計事務所）などのコメントがみられた。

- ✓ 3月の景気ウォッチャーの見方は、「このところ回復に弱さがみられる。先行きについては、海外情勢等に対する懸念もある一方、改元や大型連休等への期待がみられる。」とまとめられた。調査時期の3月最終週は世界的な景気減速懸念から株安となり、日銀・内閣府が景気判断を引き下げるなど急速に景気悪化観測が高まっていた時期。マインドに大きく影響したといえよう。

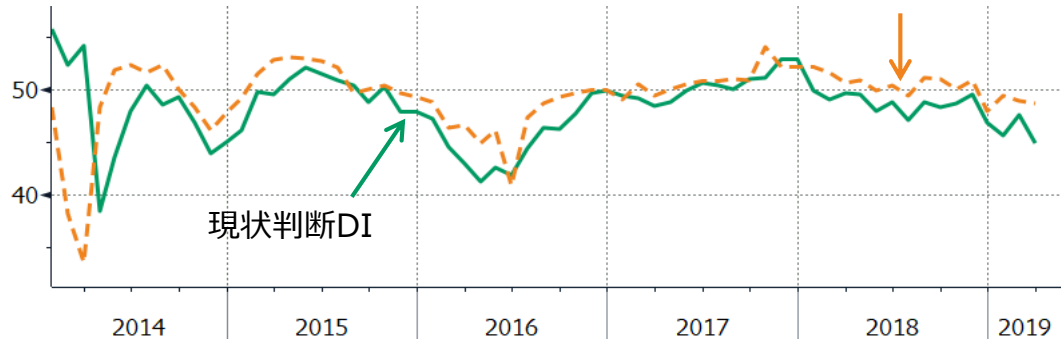
### 【景気の実状判断DI(季節調整済)】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前月差
合計	48.6	49.5	46.8	45.6	47.5	44.8	▲2.7
家計動向関連	47.9	49.3	46.6	44.6	47.1	44.2	▲2.9
小売関連	47.0	47.1	45.3	42.5	45.8	43.5	▲2.3
飲食関連	49.0	51.1	47.2	44.2	45.2	42.4	▲2.8
サービス関連	48.8	52.1	48.6	48.5	49.9	45.6	▲4.3
住宅関連	50.9	54.1	49.2	47.3	49.3	46.7	▲2.6
企業動向関連	48.8	48.5	46.1	46.6	46.9	44.9	▲2.0
製造業	47.8	48.1	45.7	43.4	44.8	41.9	▲2.9
非製造業	49.7	49.2	46.8	49.4	48.8	47.2	▲1.6
雇用関連	52.2	53.3	48.8	49.9	50.7	48.4	▲2.3

### 【景気の先行き判断DI(季節調整済)】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前月差
合計	50.0	50.8	47.9	49.4	48.9	48.6	▲0.3
家計動向関連	50.2	51.0	48.0	50.0	48.5	48.6	+0.1
小売関連	49.7	50.1	47.9	49.6	47.4	48.8	+1.4
飲食関連	49.2	52.2	44.4	49.7	46.3	44.7	▲1.6
サービス関連	51.2	52.0	49.1	51.0	51.4	50.3	▲1.1
住宅関連	51.3	52.8	48.2	48.9	47.5	43.7	▲3.8
企業動向関連	48.6	49.0	46.3	46.8	48.7	47.7	▲1.0
製造業	48.1	48.1	44.2	45.2	49.9	47.8	▲2.1
非製造業	48.9	49.9	47.8	48.0	48.1	47.7	▲0.4
雇用関連	51.5	53.1	49.8	51.3	52.3	49.9	▲2.4

### 【景気ウォッチャー調査の推移】



【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項  
 本資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。